

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 8 月 6 日 (2020.8.6)

【公開番号】特開 2019-10278 (P2019-10278A)

【公開日】平成 31 年 1 月 24 日 (2019.1.24)

【年通号数】公開・登録公報 2019-003

【出願番号】特願 2017-128314 (P2017-128314)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

A 6 3 F 7/02 3 1 2 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 6 月 29 日 (2020.6.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

特別入賞口と、前記特別入賞口に入賞した遊技球が通過可能な特定領域と、前記特定領域に遊技球を通過させる第 1 状態と前記特定領域に遊技球を通過させない第 2 状態とをとり得る振分部材と、を有する特別入賞手段と、

前記振分部材を制御可能な振分部材制御手段と、を備え、

前記特別入賞口を開放する単位開放遊技を実行可能であり、前記特別入賞口に入賞した遊技球が前記特定領域を通過したことに基づいて特典を付与可能な遊技機であって、

前記振分部材制御手段は、

特定の単位開放遊技における前記特別入賞口への入賞個数が第 1 の変化点個数である場合に、前記振分部材を第 1 の作動パターンで作動させ、当該特定の単位開放遊技における前記特別入賞口への入賞個数が前記第 1 の変化点個数よりも大きい第 2 の変化点個数である場合に、前記振分部材を第 2 の作動パターンで作動させるものであって、

前記特定の単位開放遊技とは異なる他の単位開放遊技における前記特別入賞口への入賞個数が前記第 1 の変化点個数である場合に、前記振分部材を第 1 の作動パターンで作動させ、当該他の単位開放遊技における前記特別入賞口への入賞個数が前記第 2 の変化点個数である場合に、前記振分部材を第 2 の作動パターンで作動させないものであり、

前記特別入賞手段には、前記特別入賞口に入賞した遊技球を検知可能な検知手段が複数設置されており、

前記検知手段による遊技球の検知に基づいて、前記特別入賞口への入賞個数がカウントされ、

前記第 2 の変化点個数は、前記第 1 の変化点個数よりも前記検知手段の設置個数以上大きい値であることを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の遊技機であって、

前記振分部材は、

前記第 1 の作動パターンでは予め定められた第 1 の時間にわたって前記第 1 状態に制御され、

前記第 2 の作動パターンでは前記第 1 の時間とは異なる第 2 の時間にわたって前記第

1 状態に制御され得るものであることを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

本発明の遊技機は、

特別入賞口と、前記特別入賞口に入賞した遊技球が通過可能な特定領域と、前記特定領域に遊技球を通過させる第 1 状態と前記特定領域に遊技球を通過させない第 2 状態とをとり得る振分部材と、を有する特別入賞手段と、

前記振分部材を制御可能な振分部材制御手段と、を備え、

前記特別入賞口を開放する単位開放遊技を実行可能であり、前記特別入賞口に入賞した遊技球が前記特定領域を通過したことに基づいて特典を付与可能な遊技機であって、

前記振分部材制御手段は、

特定の単位開放遊技における前記特別入賞口への入賞個数が第 1 の変化点個数である場合に、前記振分部材を第 1 の作動パターンで作動させ、当該特定の単位開放遊技における前記特別入賞口への入賞個数が前記第 1 の変化点個数よりも大きい第 2 の変化点個数である場合に、前記振分部材を第 2 の作動パターンで作動させるものであって、

前記特定の単位開放遊技とは異なる他の単位開放遊技における前記特別入賞口への入賞個数が前記第 1 の変化点個数である場合に、前記振分部材を第 1 の作動パターンで作動させ、当該他の単位開放遊技における前記特別入賞口への入賞個数が前記第 2 の変化点個数である場合に、前記振分部材を第 2 の作動パターンで作動させないものであり、

前記特別入賞手段には、前記特別入賞口に入賞した遊技球を検知可能な検知手段が複数設置されており、

前記検知手段による遊技球の検知に基づいて、前記特別入賞口への入賞個数がカウントされ、

前記第 2 の変化点個数は、前記第 1 の変化点個数よりも前記検知手段の設置個数以上大きい値であることを特徴とする遊技機である。